

いぐさ(畳表)をめぐる事情

令和8年10月

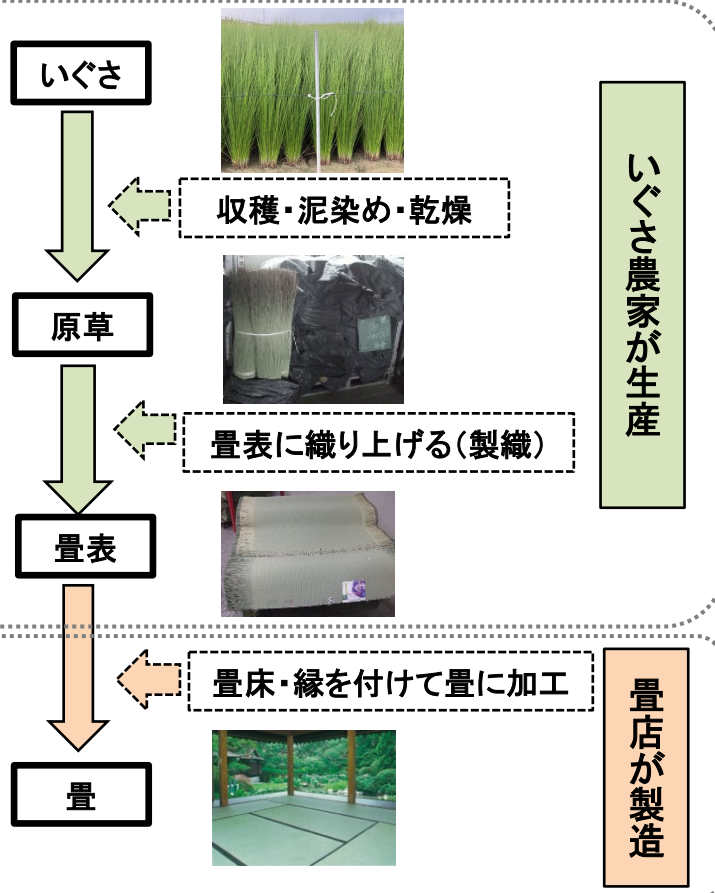
農林水産省

1. いぐさ・畳表について

- 農家がいぐさ栽培から畳表の製織までを一貫して行い、畳店において畳に加工され、消費者に販売される。
- 畳表の品質はいぐさの品質や本数に左右され、長さ、重量、色沢等により銘柄品の規格が定められている。

いぐさ(学名: *Juncus effeuses*.L.)

- ・イグサ科イグサ属の多年生草本
- ・日本の湖畔等の湿地帯に自生
- ・主産地である熊本県八代郡では約500年前から栽培



良い畳表とは

畳表は、いぐさの根の部分と先端の部分を除いた中央部分だけを使用して織られることから、

- ① 長いいぐさほど上質
- ② 変色や傷がなく太さが揃っているほど上質
- ③ 茎の密度がしっかり詰まっているほど上質

熊本県では、開発品種について、長さ、重量、色沢等により銘柄品の規格を定めて、品質確保を進めている。

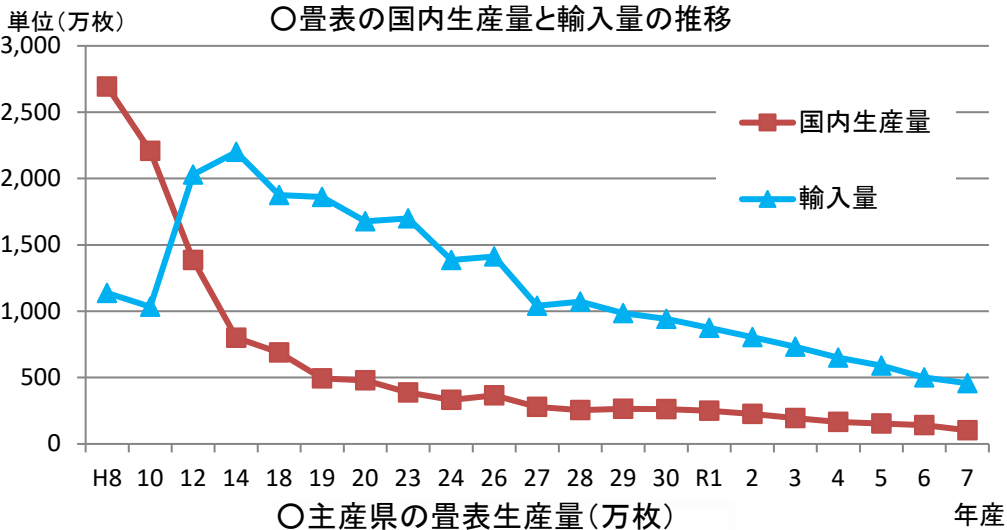
○ 畳表銘柄別いぐさの違い



2. 畳表の供給動向

- 畳表の供給量は減少傾向が続いており、令和3年以降は1,000万枚を下回っている。
- 国内自給率は平成8年(70%)から平成19年(21%)にかけて大幅に減少したものの、それ以降は20%前後で推移している。
- 令和7年の国内生産量は前年比73%の103万枚、輸入量は前年比91%の458万枚となった。

年	畳表生産枚数 ① (万枚)	畳表輸入量 ② (万枚)	畳表供給量 ①+② (万枚)	自給率 (%)
H8	2,694	1,137	3,831	70
10	2,208	1,034	3,242	68
12	1,387	2,030	3,417	41
14	799	2,200	2,999	27
18	688	1,875	2,563	27
19	493	1,862	2,355	21
20	479	1,677	2,156	22
23	387	1,699	2,086	19
24	332	1,385	1,717	19
26	367	1,413	1,780	21
27	278	1,042	1,320	21
28	254	1,073	1,327	19
29	265	986	1,251	21
30	261	942	1,203	22
R元	250	874	1,124	22
2	226	804	1,030	22
3	195	731	926	21
4	165	651	816	20
5	154	591	745	21
6	141	502	643	22
7	103	458	561	18



○主産県の畳表生産量(万枚)

年度	福岡	熊本
H27	4	274
28	4	250
29	3	262
30	3	258
R元	2.5	247
2	2	224
3	1.4	194
4	-	165
5	-	154
6	-	141
7	-	103

資料：農林水産省「特定作物統計」、財務省「貿易統計」、全国い生産団体連合会調べ(年は当該年の前年7月から当年6月まで)

注1：輸入量(枚数)は、輸入重量を1.7kg/枚で除したもの。

注2：国内生産量は、平成13年まで全国い生産団体連合会調べ、平成14年以降は「特定作物統計」(主産県(福岡県、熊本県)、令和4年以降は熊本県)による。

【参考】畳表の需要動向

- 畳替枚数
住宅の洋風化など生活様式の変化に伴い、1世帯当たりの畳替枚数は長期的には減少傾向が続いており、令和7年は前年比48%と半減した。
- 新設住宅着工戸数
新設住宅着工戸数は、令和元年度以降は800～900千戸台で推移していたが、令和7年は前年比87%となった。

年	畳替枚数 (畳/戸)	全世帯数 (万戸)	総枚数 (万枚)	総枚数 平成元年比 (%)
H元	0.423	4,056	1,716	
7	0.331	4,424	1,464	85%
11	0.266	4,681	1,245	73%
15	0.232	4,926	1,142	67%
21	0.130	5,288	688	40%
22	0.144	5,336	771	45%
23	0.109	5,378	586	34%
24	0.151	5,417	820	48%
25	0.156	5,459	852	50%
26	0.139	5,495	764	45%
27	0.145	5,641	818	48%
28	0.087	5,695	495	29%
29	0.088	5,748	506	29%
30	0.115	5,801	667	39%
R元	0.079	5,853	462	27%
2	0.046	5,907	272	16%
3	0.068	5,950	405	24%
4	0.082	5,823	477	28%
5	0.056	5,849	328	19%
6	0.060	5,874	352	21%
7	0.029	5,896	171	10%

年度	新設住宅着工戸数 (千戸)	うち持ち家 (千戸)	新設住宅 着工戸数 平成元年比 (%)
H元	1,663	499	
7	1,485	551	89%
11	1,226	476	74%
15	1,174	373	71%
21	775	287	47%
22	819	309	49%
23	841	305	51%
24	893	317	54%
25	987	353	59%
26	880	278	53%
27	921	284	55%
28	974	292	59%
29	946	282	57%
30	953	288	57%
R元	884	283	53%
2	812	263	49%
3	866	281	52%
4	861	248	52%
5	800	220	48%
6	816	223	49%
7	711	195	43%

資料：総務省「家計調査」、「小売物価統計調査」「住民基本台帳に基づく世帯数」、国土交通省「建築着工統計調査」

注：畳替枚数の試算方法は次のとおり。 世帯当たり畳替金額 ÷ 畳表取替費
(家計調査) (小売物価統計調査 東京都区部)

3. 生産の動向

- いぐさの生産は熊本県が大宗を占める。生活様式の洋風化等による畳表需要の減少に伴い作付面積は減少傾向が続いており、令和7年産は242ha(前年比76%)となった。
- 令和7年産の単収は、定植後の低温、5月以降の日照不足、少雨により、前年産を下回る1,500kg/10aであったが、直近7年の平均単収(1,507/10a)対比では100%であり、平年並みであった。
- い生産農家数も減少傾向が続いており、令和7年産の熊本県の生産農家数は223戸(前年比84%)となっている。

年	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	単収 (kg/10a)	畳表 生産枚数 (万枚)	い生産 農家数 (戸)
H18	1,370	15,300	1,120	688	1,030
19	1,110	15,200	1,370	493	851
20	1,070	13,700	1,280	479	806
21	1,000	14,300	1,430	432	767
22	899	11,500	1,280	405	705
23	838	9,640	1,150	387	653
24	854	10,600	1,240	332	639
25	818	11,800	1,440	343	622
26	739	10,100	1,370	367	576
27	701	7,800	1,110	278	550
28	643	8,340	1,300	254	522
29	578	8,530	1,480	265	474
30	541	7,500	1,390	261	450
R元	476	7,130	1,500	250	406
2	424	6,300	1,490	226	363
3	451	6,390	1,420	195	346
4	380	5,810	1,530	165	319
5	351	5,440	1,550	154	296
6	319	4,980	1,560	141	266
7	242	3,630	1,500	103	223

年		作付面積 (ha)	収穫量 (t)	単収 (kg/10a)	畳表 生産枚数 (万枚)	い生産 農家数 (戸)
H27	福岡	14	165	1,180	4	14
	熊本	687	7,630	1,110	274	536
28	福岡	12	142	1,180	4	13
	熊本	631	8,200	1,300	250	509
29	福岡	10	123	1,230	3	13
	熊本	568	8,410	1,480	262	461
30	福岡	7	83	1,190	3	8
	熊本	534	7,420	1,390	258	442
R元	福岡	5	62	1,230	3	7
	熊本	471	7,070	1,500	247	399
2	福岡	4	44	1,100	2	6
	熊本	420	6,260	1,490	224	357
3	福岡	3	33	1,110	1	5
	熊本	448	6,360	1,420	194	341
4	福岡	－	－	－	－	－
	熊本	380	5,810	1,530	165	319
5	福岡	－	－	－	－	－
	熊本	351	5,440	1,550	154	296
6	福岡	－	－	－	－	－
	熊本	319	4,980	1,560	141	266
7	福岡	－	－	－	－	－
	熊本	242	3,630	1,500	103	223

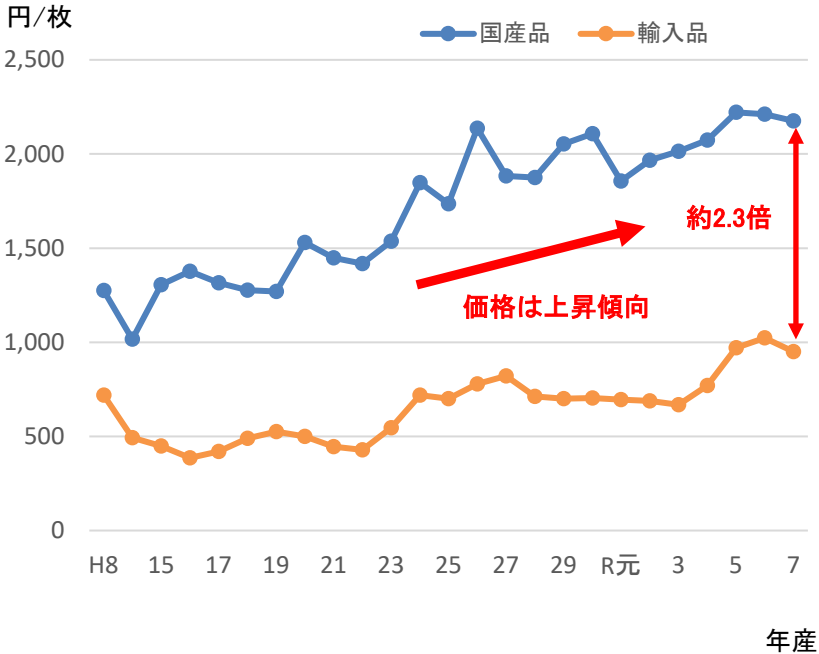
資料：農林水産省「特定作物統計」（主産県（福岡県、熊本県）、令和4年以降は熊本県。畳表生産枚数の年は当該年の前年7月から当年6月まで）
い生産農家数は、各年産の「い」の栽培を行った農家の数である。

4. 主産地における価格の動向

- 国産畳表価格は、中国からの輸入急増により平成12年には1枚当たり1,016円であったものの、その後の輸入減少や優良品種の導入による輸入品との差別化が進んだことから、平成23年以降は上昇傾向に転じた。
- 令和7年産の価格は2,176円/枚と前年比98%であったが、中国産との価格差は約2.3倍となっている。

年	国産品			輸入品		
	国内生産量 ① (万枚)	単価 ② (円/枚)	総生産額 ①×② (億円)	輸入量 (万枚)	うち中国 (万枚)	単価 (円/枚)
H8	2,694	1,274	343	1,137	1,131	719
12	1,387	1,016	141	2,030	2,029	493
15	786	1,306	103	2,412	2,411	449
19	493	1,270	63	1,862	1,861	525
20	479	1,530	73	1,677	1,674	499
21	432	1,448	63	1,562	1,560	445
22	405	1,418	57	1,537	1,537	428
23	387	1,537	59	1,699	1,698	546
24	332	1,848	61	1,385	1,384	719
25	343	1,735	60	1,327	1,327	701
26	367	2,136	78	1,413	1,413	778
27	278	1,884	52	1,042	1,042	821
28	254	1,874	48	1,073	1,073	712
29	265	2,053	54	986	986	700
30	261	2,107	55	942	942	703
R元	250	1,856	46	874	874	695
2	226	1,967	44	804	804	689
3	195	2,014	39	731	731	668
4	165	2,073	34	651	651	770
5	154	2,221	34	591	591	971
6	141	2,212	31	502	502	1,023
7	103	2,176	22	458	458	951

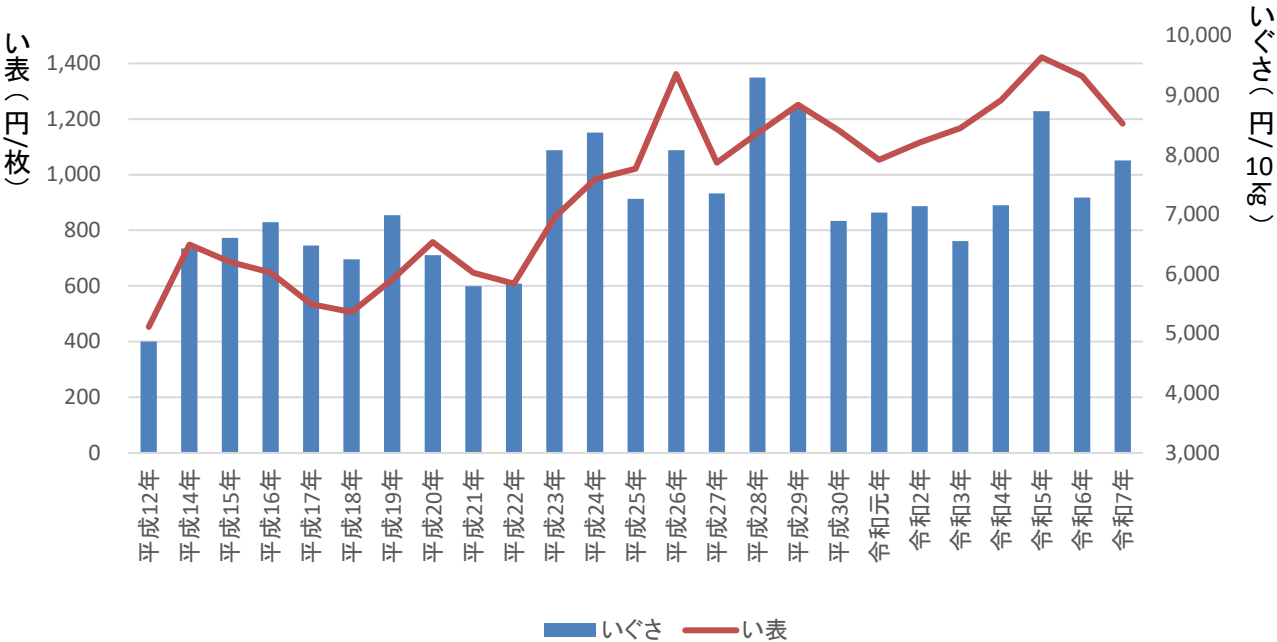
【畳表価格の推移】



資料：農林水産省「特定作物統計」、財務省「貿易統計」、全国い生産団体連合会調べ、熊本県農協市場（年は当該年の前年7月から当年6月まで）
注1：国内生産量は、平成13年まで全国い生産団体連合会調べ、平成14年以降は「特定作物統計」（主産県（福岡県、熊本県）、令和4年以降は熊本県）による。
注2：輸入量（枚数）は、輸入重量を1.7kg／枚で除したもの。
注3：単価はすべての等級の平均

【参考】いぐさ原草・三種い表(団地間畳表)価格の推移

	いぐさ 10kg 草丈120cm,上	い表 三種表、綿糸 1枚
平成12年	4,870	453
平成14年	6,430	749
平成15年	6,605	687
平成16年	6,870	649
平成17年	6,480	535
平成18年	6,247	506
平成19年	6,986	623
平成20年	6,317	758
平成21年	5,798	648
平成22年	5,841	608
平成23年	8,079	847
平成24年	8,375	984
平成25年	7,263	1,021
平成26年	8,075	1,362
平成27年	7,353	1,043
平成28年	9,297	1,149
平成29年	8,803	1,251
平成30年	6,890	1,159
令和元年	7,030	1,054
令和2年	7,137	1,116
令和3年	6,552	1,167
令和4年	7,153	1,268
令和5年	8,734	1,422
令和6年	7,282	1,355
令和7年	7,906	1,184



農林水産省 農業物価統計調査(農産物品目別年次別全国平均販売価格) R7は概数。

※3種表:JAS規格

JAS規格	種類	通称	長さ(cm)	幅(cm)	主な使用地域
一種表	本間	京間、関西間	191	95.5	関西、中国、四国、九州
二種表	三六間	中京間	182	91	中京地区、東北、北陸の一部、沖縄
三種表	五八間	関東間・江戸間 田舎間・狭間	176	88	かつては名古屋以東に多かったが現在は全国に普及。
	五六間	団地間 公団サイズ	170	85	公団公営住宅など団地住宅、その他建売住宅に多い。

5. 優良品種の普及による品質向上対策

- 熊本県では高品質畳表の生産による輸入品との差別化を目的に、品質や生産性に優れる新品種の普及に取り組んでおり、令和7年産の優良品種(「ひのみどり」「夕風」「ひのはるか」「涼風」)の普及率は計97%に達している。
- 平成28年産からは上級の畳表に用いられる長茎の収量が多い「涼風」の作付けが始まり、令和7年産では「涼風」の普及率は50%に達している。

○ 熊本県優良品種別生産状況

年産	作付	ひのみどり		夕風		ひのはるか		涼風		合計	
	面積 ha	面積 ha	普及率 %	面積 ha	普及率 %	面積 ha	普及率 %	面積 ha	普及率 %	面積 ha	普及率 %
19	1,080	568	53%	-	-	-	-	-	-	568	53%
20	1,048	577	55%	121	12%	-	-	-	-	699	67%
21	980	536	55%	123	13%	83	8%	-	-	741	76%
22	882	490	56%	136	15%	97	11%	-	-	723	82%
23	825	464	56%	136	16%	113	14%	-	-	713	86%
24	840	493	59%	131	16%	124	15%	-	-	747	89%
25	801	467	58%	111	14%	136	17%	-	-	713	89%
26	725	426	59%	103	14%	129	18%	-	-	658	91%
27	687	392	57%	110	16%	127	19%	-	-	629	92%
28	631	287	45%	63	10%	94	15%	155	25%	599	95%
29	568	196	35%	31	5%	67	12%	250	44%	544	96%
30	534	178	33%	23	4%	61	11%	249	47%	511	96%
R元	471	166	35%	27	6%	51	11%	209	44%	453	96%
2	420	168	40%	28	7%	68	16%	139	33%	402	96%
3	448	153	34%	36	8%	54	12%	190	42%	433	97%
4	380	112	29%	31	8%	49	13%	175	46%	367	97%
5	351	97	28%	26	7%	39	11%	178	51%	340	97%
6	319	76	24%	24	8%	39	12%	172	54%	311	97%
7	242	64	26%	18	7%	32	13%	120	50%	234	97%

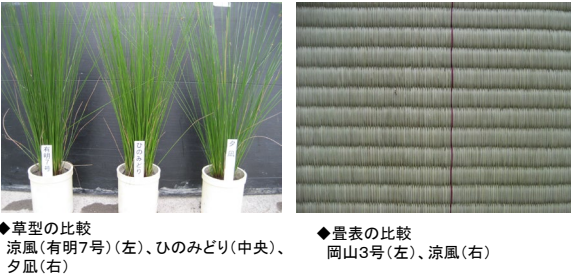
資料: 熊本県調べ(年は当該年の前年7月から当年6月まで)

【優良品種の例】

- ひのみどり
- ・茎が細く変色の発生が少ない
 - ・表面がきめ細やかで折り目が良い畳表を織ることができる



- 涼風
- ・上級の畳表に用いられる長茎収量が多い
 - ・茎が中太で硬く、単位時間当たり多くの畳表を織ることができる



①いぐさ・畳表農家経営所得安定化対策事業

0百万円

(平成26年度予算で261百万円を基金造成)

事業実施期間: 令和8年度～令和10年度(R11.6月)
※平成28年度、令和元年度、令和4年度、令和7年度に延長

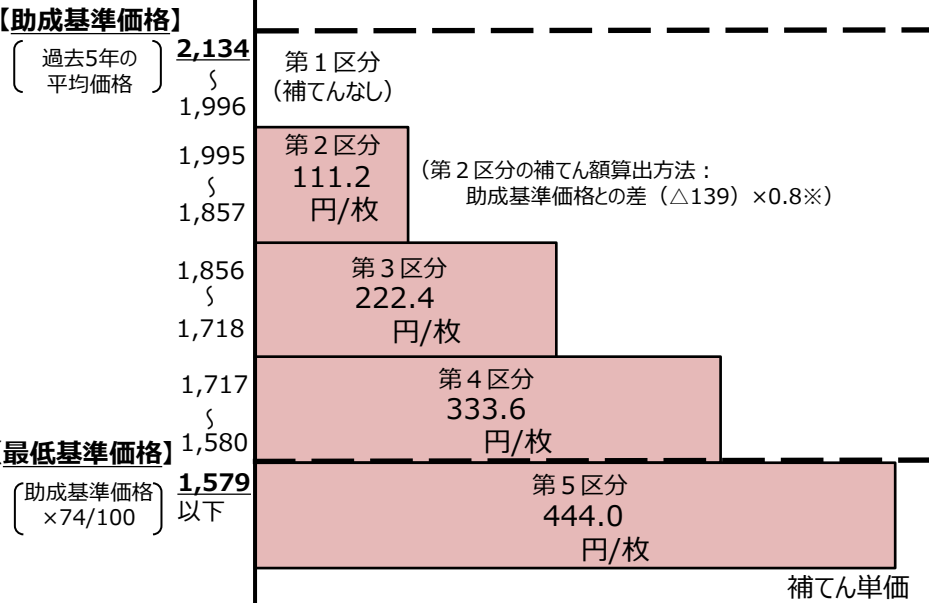
対策のポイント

国産畳表の高品質化・ブランド化に取り組むいぐさ生産者の経営安定を図るため、国産畳表の価格が下落した際に補てん金を交付。

1 補てん金の考え方

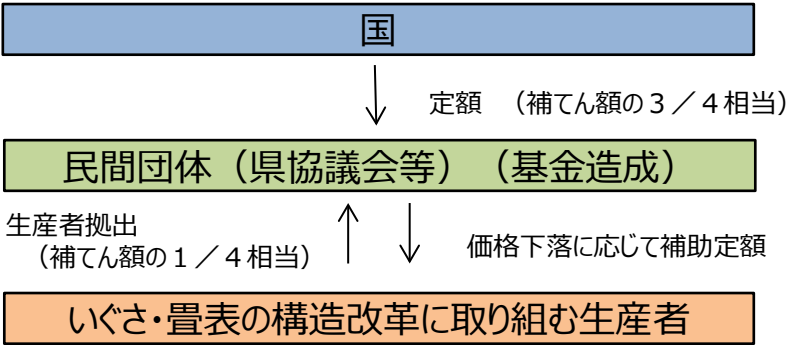
畳表の市場価格の下落に応じて、5段階に分けた助成基準価格帯ごとに、一定の補てん金を交付

<補てん単価の例> (R8.7～『優』の場合)



※ 銘柄品 (『極』、『特選』、『優』) は補てん率80%、一般品は60%

2 補てん金の流れ



3 交付対象者要件

- 高品質品種 (熊本県の場合、『ひのみどり』、『夕風』、『ひのはるか』、『涼風』) の作付面積割合が、令和4年産において原則として5割以上であって、令和7年産までにその作付面積割合を1割以上増加させる計画を定めている生産者
- 農家所得の5割以上が農業所得であって、自営農業従事日数が年間60日以上である世帯員がいる生産者
- Q Rコード付きタグ等による生産履歴付き畳表の出荷に取り組んでいる又は今後取り組むための計画を定めている生産者
- 本事業に係る加入契約を締結し、申込数量に応じた拠出金を納付している生産者

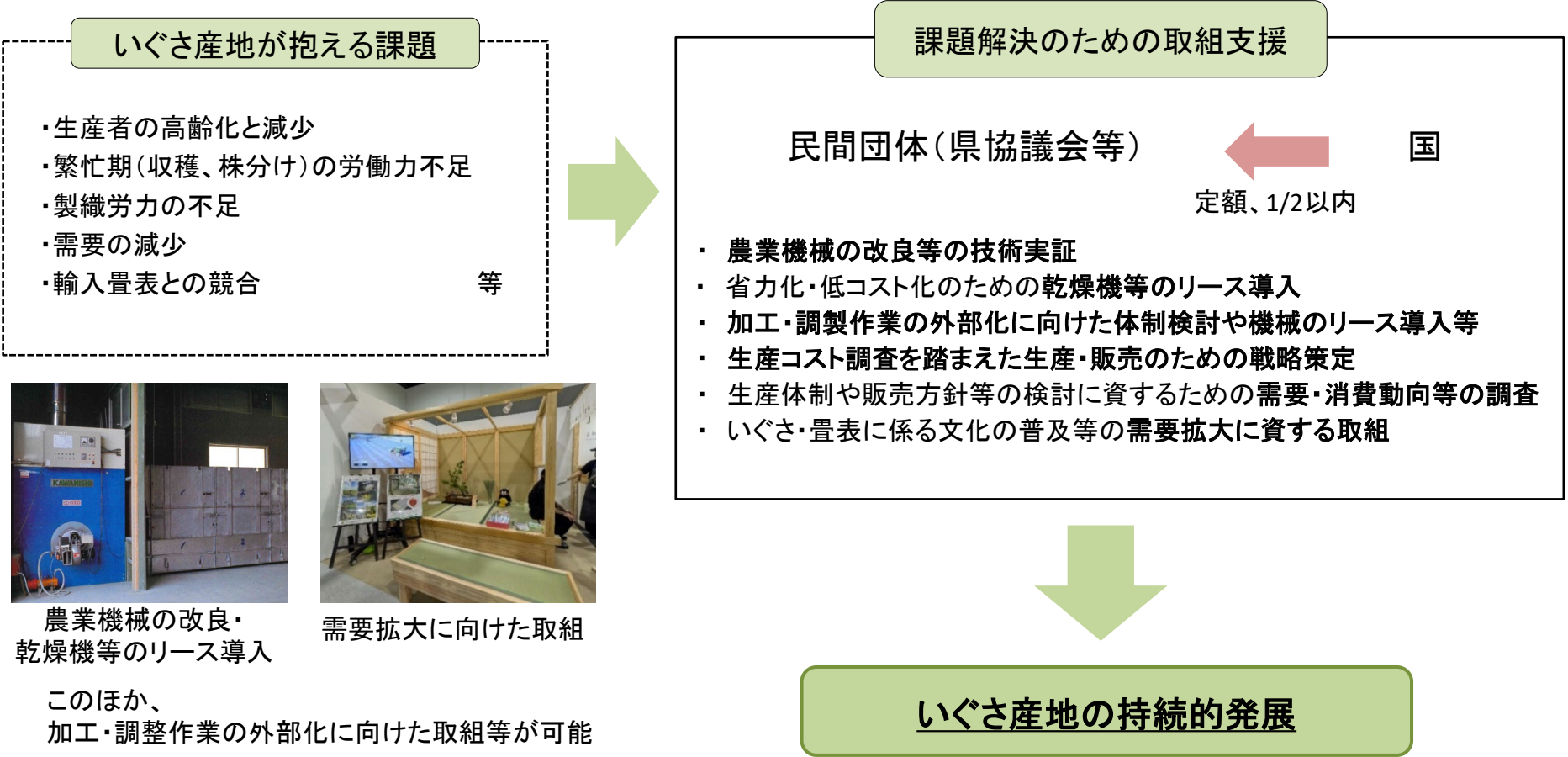
4 交付対象畳表要件

- 97cm以上 (銘柄品は110cm以上) の原料いぐさにより製織される畳表

②茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業

令和8年度予算額
1,150百万円の内数※
※いぐさ以外の品目を含む
補助率：定額、1/2以内
事業実施主体：民間団体

対策のポイント
いぐさ産地が抱える課題を解決するため、効率的な生産体制の確立に向けた技術実証、乾燥機等のリース導入や、国産畳表の需要拡大等に向けた取組を支援。



【参考】関係者による取組①: 畳店向け研修会

- 国産いぐさ・畳表の需要拡大のため、全国各地で畳店を対象とした研修会を実施。
- 研修では、高級品と一般品の畳表品質の違いや販売促進事例の紹介を行うとともに、いぐさ農家と畳店等の意見交換を実施。参加者からは、研修で得た知識を基に国産いぐさをを用いた畳の普及につなげたいといった声。



【参加者の声(抜粋)】

- ・畳表の見分け方、製品の良し悪しがよくわかった。織り方で同じ草でも違う質になることがわかった。
- ・これまでもいぐさ・畳表のことを理解していたつもりだったが、詳しく理解できた。お客様により多くの情報を伝えることができる。
- ・畳屋として畳表を加工することに重きを置いてきたが、農家さんや産地の方の沢山の工夫を経て畳屋に渡ってきていると知り、大変感慨深い説明会だった。現地へ直接行って見学してみたい。

【参考】関係者による取組②: 若い世代に向けた取組(1)

- 東京都(池袋)で開催されたイベント(リトルママフェスタ)では、畳の上で赤ちゃんのハイハイレースを実施するほか、畳敷の観覧・休憩スペースを用意。子育て世代と子どもが畳の手触りと香りを体感する機会を提供。
- 和文化・産業連携振興協議会が開催した「夏休み親子和 문화体験会」では、お茶・生け花・着物業界と連携し、小学生を対象として、ミニ畳づくりやお茶会など、畳に関連した和 문화体験を実施。

「リトルママフェスタ」



「夏休み親子和 문화体験会」



【参考】関係者による取組②: 若い世代に向けた取組(2)

- 全国い産業連携協議会は、若い世代の方々へ、国産畳表を利用した畳のことをわかりやすく紹介した「暮らしとタタミ 再発見BOOK」を作成。
また、畳の知識を習得できる子供向けの冊子「たたみの学習」を作成。

「暮らしとタタミ 再発見BOOK」



「たたみの学習」



【参考】農林水産省関連の取組①: 国際会議及びイベントでのPR

- 令和5年4月に行われたG7宮崎農業大臣会合及び同年5月に行われたG7広島サミットにおいて、農林水産大臣賞の畳表を用いた和室を展示するとともに、G7宮崎農業大臣会合では、国産畳表を使用した会場で夕食会を開催。国内外の関係者に国産畳表をPR。
- EXPO 2025 大阪・関西万博において、いぐさから畳表ができるまでの製造工程の紹介、国産いぐさを使用した畳の和室やベンチの展示、いぐさコースターやミニ畳づくり等のワークショップを実施。

「G7宮崎農業大臣会合」



「EXPO 2025 大阪・関西万博」



「G7広島サミット」



【参考】農林水産省関連の取組②: 省内での展示

- 農林水産省にある「消費者の部屋」特別展示や三番町共用会議所一般公開において、いぐさ原草、畳表、いぐさ製品等を展示。
- また、伝統的な和の文化の良さを内外にPRし、国産の畳や木材の需要拡大を積極的に進めるため、農水省別館ロビーに熊本産の畳表、国産木材、鳥取産の和紙を使った茶室といぐさロールベンチを常設。

「消費者の部屋及び三番町会議所一般公開」



「農林水産省茶室での展示」



「こども霞が関見学デー」



【参考】畳の新たな可能性①

- 畳の新たな可能性として、老舗畳店で働く山田憲司さんが制作した新しいデザインの畳がSNSを中心に話題。
- 天然いぐさを使用し、畳の網目の角度を少しずらすことによって、光の反射で色を変化させている。



龍の畳



個展での展示作品



制作の様子



デザイン性の高い畳を使ったインテリア

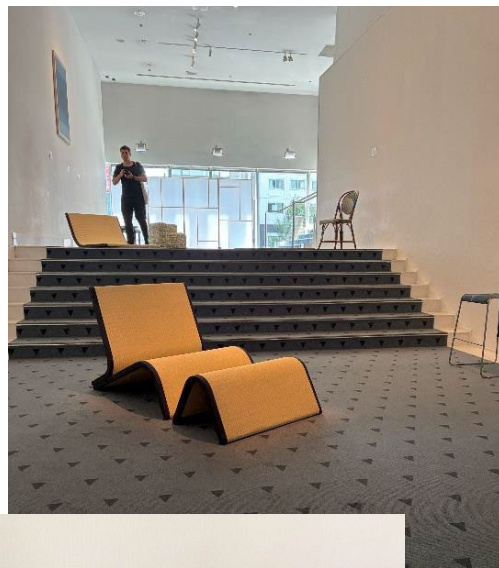
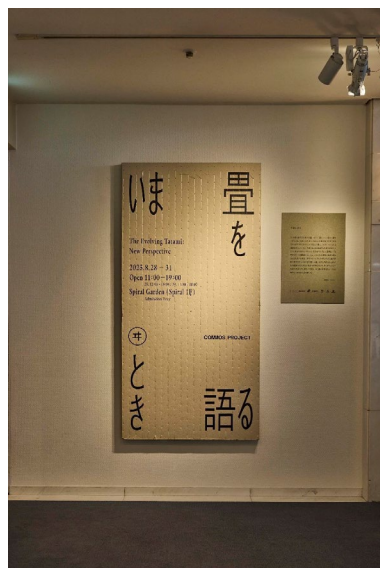


ハイエースの荷台を畳敷に

※ 写真提供：山田憲司氏

【参考】畳の新たな可能性②

- 日本の新しい素材文化を考えるリサーチプロジェクトCOMMOS PROJECT(コムスプロジェクト)の一環として、畳に関する原料の生産や製造、それを支えるメーカーなどの関係者とともに、畳にまつわる素材文化を紐解きながら、新たな可能性を探る展覧会「いま 畳を語るとき」を開催。
- 天然いぐさを使用したロールケーキや、いぐさを使ったモダンなインテリア、いぐさが畳になるまでの工程などを紹介。



デザイナーによるいぐさを使ったモダンインテリア

【参考】置き畳の活用事例

- 畳の中には、一般的な和室に敷く畳のほかに、フローリングの上など部屋の中に自由に置くことができる「置き畳」がある。
- リビングや寝室など、国産畳表の置き畳を使ったインテリアが提案されている。



置き畳のベッド



寝室や子供部屋



リビング



※ 写真提供: 全日本畳事業協同組合、金井畳店

いぐさ農家の一年（栽培と製織）

11月			12月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
 1 育苗・苗堀り 12月に畑（苗床）に植付けた苗を8月に掘り出し水田苗床へ植付け、苗を育てます。それを11月中旬に掘り出し、本田へ植え付けるための調整（株分けや根切り）などを行います。			 2 植え付け 11月下旬から植え付けが始まります。調整した苗を移植機等で本田へ植え付けます。			 3 先刈り 根元までしっかり日光を届けるために、5月上旬頃、いぐさの先端を刈り払い、新芽の発芽を促します。収穫の45日前頃に出る芽が長くて質の良いいぐさになるため、このような作業を行います。			 4 網張り いぐさは150cm以上に成長するので、倒伏防止のために水田全体に網を張ります。網の間から先端をだし、折れ曲がることなく、すくすく成長します。			 5 収穫 6月下旬から7月中旬にかけて刈り取ります。いぐさの鮮度を保つため、刈り取りは気温の低い早朝や夕方に行います。			 6 泥染め・乾燥 刈り取ったいぐさは、畳独特の色や香り、光沢を出すために、天然染土を使って泥染めをします。泥染めをすることで表面をコーティングし、均一に乾燥させることが出来ます。その後、乾燥機で乾燥させます。			 7 製織 泥染め、乾燥したいぐさを、長さごとに選別して、畳表に織り上げます。この作業は一年かけて各農家で行われます。いぐさ農家は、栽培から畳表の製織までを一貫して行っています。			 8 仕上げ 織り上げた畳表は、一枚一枚、手作業で傷が無いか等をチェックして仕上げます。			 9 検査・出荷 仕上げが終わった畳表は、厳しい検査を受けます。検査に合格した畳表は製品のランクごとに分けられ、全国に出荷されます。		